

長崎大学文教キャンパスへのアクセス



JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

■浦上駅から路面電車をご利用の場合

「浦上駅前」から「赤迫(あかさこ)」行き乗車
「長崎大学」で下車(所要時間 / 約10分) 料金130円

■浦上駅からバスをご利用の場合

「浦上駅前」から長崎バス1番系統「溝川」・「上床」・「上横尾」行き乗車
「長崎大学前」で下車(所要時間 / 約10分) 料金160円



高速バスをご利用の場合

各地より浦上経由長崎方面行きバスに乗り、「昭和町(しょうわまち)」で下車、その後、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分



航空機をご利用の場合

長崎空港(大村市)4番乗り場から空港リムジンバス乗車
片道1,000円

■長崎県営バス「試験場前・諫早インター・浦上経由 長崎駅前」行き乗車
「長大東門前(ちょうだいひがしもんまえ)」で下車(所要時間 / 約40分)

■長崎県営バス「試験場前・諫早インター・浦上経由・住吉経由 長崎駅前」行き乗車
「長崎大学前」で下車(所要時間 / 約45分)

表紙の写真

写真上からノトルコ共和国・イスタンブール、ボスフォラス海峡より「乙女の塔」とウスキュダル地区／ハンガリー・ブダペスト、聖イシュトヴァーン大聖堂内観／ベトナム・ハノイ、文廟内(日本・ベトナム歴史文化交流プログラム)／ベトナム・ハノイ、文廟門(日本・ベトナム歴史文化交流プログラム)／オランダ・アムステルダム、スキポール空港(日本語学科で仲の良かった友人が空港まで見送りに来てくれた場面)

長崎大学
多文化社会学部
スマホサイトへ



2020年7月発行



人文学部社会科学域事務部北地区事務課 学務第一係(多文化社会学部)
〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 TEL.095-819-2030
Mail:hss_gakumu@ml.nagasaki-u.ac.jp http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp

SCHOOL OF GLOBAL HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

長崎大学 多文化社会学部



NAGASAKI UNIVERSITY

2020



地域の視点から世界を俯瞰し、 グローバルな視点から地域を考える、 人間性豊かな人材を育成します。

育成する人材像

グローバル化する世界において、人文科学・社会科学諸分野の幅広い教養を基礎として、社会的・文化的・言語的多様性の観点から、その意義を理解できる。

英語を中心とした高度な外国語運用能力を有し、グローバル化する世界の多文化状況において、円滑にコミュニケーションおよびプレゼンテーションを遂行できる。

多様な人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けて、パートナーシップやリーダーシップを発揮して行動できる。

学ぶ楽しさを学ぶ

長崎大学多文化社会学部は、グローバル化する現代世界を生き抜く責任ある自由人としての素養と判断力、感性、行動力をもった人材を育成するために2014年に開設されました。

私が考える多文化社会学部の教育の使命は、
(1) 真の意味でのリベラルアーツliberal arts、
(2) 国際共通語としての英語コミュニケーション能力、
(3) 各教員の専門の人文社会科学、(4) 未来のためのビジネス・スキルの4領域の教育を通して有為な人材を育成することです。

リベラルアーツは、「liberalis 自由人にふさわしいArs/Artes技術・学術」のことで、ギリシャ・ローマ時代の自由な市民が市民活動に参加するための言語に関する三学trivium(文法、論理、修辞)と、数に関連した四科quadrivium(算術、幾何、音楽、天文学)からなる素養です。知識伝達型の専門教育とは異なり、学問分野を越えて共通に求められる知識や技法を習得させ、多面的・自主的・総合的に思考し、判断する能力を培います。米国のハーバード大学もリベラルアーツの小規模大学からスタートしました。リベラルアーツ教育の特徴は、教員、職

員、学生の距離が近く、指導が行き届くことです。長崎大学・多文化社会学部も、教員、職員、学生の一体感のある仲が良い学部になりたいと思っています。

グローバル化された社会では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力も重要になります。各教員が専門とする学問分野に取り組みながら、リベラルアーツやコミュニケーション能力を身につけていきます。専門性を深めたい人には大学院(博士前期課程・後期課程)に進む道が設けられています。これらの素養をもって、社会に貢献するためには、現代社会を生きぬくビジネス・スキルが必要になります。これもリベラルアーツと表裏一体をなすものだと考えています。

リベラルアーツは謙虚になるための学問だと思えます。真摯に勉強することによって、自由で謙虚な社会の構成員になり、多様な人々の多様な意見を尊重しながら社会に貢献することができるのです。

多文化社会学部は学生にも教員にもそういう場を提供します。

皆さんの学生生活が実り多いものになることを願っています。



学部長 門司和彦

1953年東京生まれ。東京大学医学部保健学科卒業。保健学博士。東京大学助手、長崎大学医学部助教授、同・熱帯医学研究所教授、総合地球環境学研究所教授等を経て2014年より多文化社会学部教授。2015年より熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授を兼務

専門は、人類生態学、エコヘルス研究。ケニア、ラオス等でのフィールドワークによる人口転換と健康転換の研究に従事。

「ローカル」から「グローバル」を目指す

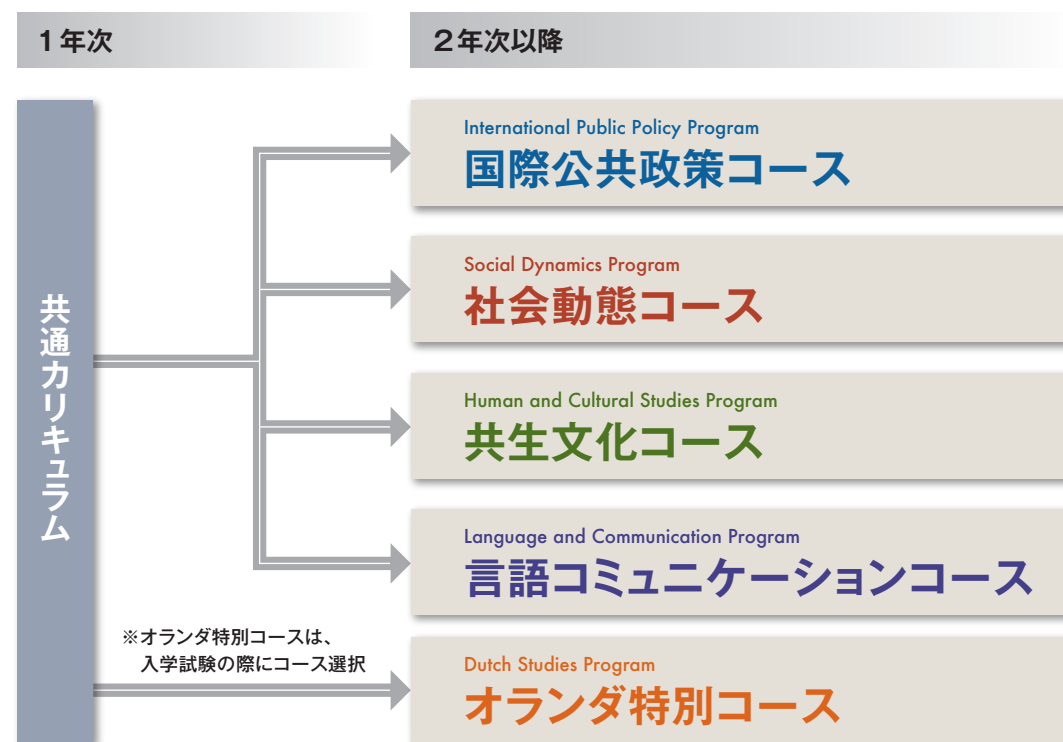
世界を学びのステージにする

特色ある5つのコース

国際社会が抱える様々な課題を分析する国際公共政策コース、
人・モノの動きから世の中をとらえる社会動態コース、多様な文化の理解から共生を考える共生文化コース、
適切な言語運用の力を身につける言語コミュニケーションコース、
そして、オランダを切り口に現代の欧州を学ぶオランダ特別コースの5コースで構成されています。
自分が学びたいコースに進み、目標に向かってチャレンジしてください。

国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び

言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定します。



取得できる免許・資格

高等学校教諭 一種免許状 (英語)	言語コミュニケーションコースの学生に限り、教育職員免許状取得に必要な科目の単位を全て修得することで、卒業時に「高等学校教諭一種免許状(英語)」を取得することができます。ただし、3年次以降に中長期留学を行う場合、4年卒業での免許状の取得ができません(5年卒業)。
日本語教員 基礎資格	多文化社会学部で開講される日本語教員基礎資格科目を履修し、所定の単位数を取得した学生に対して「日本語教員基礎資格」を認定し、卒業時に日本語教員養成プログラムの修了証を交付します。この資格は、どのコースの学生でも取得可能ですが、言語コミュニケーションコースを選択した場合、最も円滑に取得できます。

Visit our
website
for details



沖縄県営平和祈念公園にて

International Public Policy Program

国際公共政策コース

国際社会で発生する様々な課題に
政治学・法学・経済学
などを通して取り組む

現代世界には、紛争や軍縮、人権侵害、貧困や開発、法の支配、保健・衛生など、国境を越えた複雑な政策課題がふれています。これらの難問の解決に挑む、グローバルな知識と実践的能力を備えた人材を育成します。

Student's Voice



議論を重ねる中で
浮かび上がる多角的な視点

齋藤 華乃 4年

京都学園高等学校 出身

留学先：カナダ／カルガリー大学

国際的な政治や経済分野の知識を学ぶだけでなく、それをアウトプットすることで自分なりの考えをまとめる力をつけられるのが、国際公共政策コースの特徴です。「国際機構論」という講義では、学生同士のディスカッションやロールプレイングが盛んに行われました。核軍縮をテーマに学生が各国の代表役として議論することがあり、そこでは代表する国ごとの国際的な役割や他国と比較した政策を踏まえて発言することが求められます。様々な情報を調べた上で発表することで、多角的なものの見方ができるようになりました。

また3年次にカナダのカルガリー大学に留学した際、ちょうど現地では選挙戦が行われていました。日本と違い、現地の学生たちは自分の考えを積極的に発言し、講義でも具体的な候補者の政策について考えを述べる機会がありました。そうした中で政治問題に対する国ごとの違いに興味を持ち、卒業研究では、カナダにおける移民や大麻といった国内問題を他国の政策と比較しながら分析する予定です。



唐人屋敷跡にて

Social Dynamics Program

社会動態コース

現代社会のダイナミズムを
社会学・文化人類学・歴史学などの
知見を深めて読み解く

グローバル化した世界では、ある場所で発生した小さな変化が遠く離れた場所で思いよりぬ影響を及ぼすことがあります。このようなダイナミズム(動態)を、主にフィールドワークを通して読み解く能力を身につけます。

Student's Voice



生活と結びついた文化を
フィールドワークで調査

田上 奈々加 4年

熊本市立必由館高等学校 出身

留学先：中国／上海師範大学

社会動態コースを選んだきっかけは、1年次の初年次セミナーで取り組んだフィールドワークです。外国の方に英語でインタビューを行う調査で、現場に足を運んで得た情報から自分なりの結論を導き出すことが面白く感じて、もっと文化人類学的なフィールドワークを深めたいという気持ちが強くなりました。社会動態コースの特徴は、学習内容が私たちの身近な生活と密接に関係していることです。「家族社会学基礎」という講義では、日・中・韓の子育てについて調査や比較を行いました。

私の卒業研究のテーマも身近なもので、日本と中国のアイドルファンのコミュニティについて比較や分析を行っています。2年次に中国の上海師範大学に留学し、実際に現地のライブに参加したり、中国人のファンへのインタビュー調査を実施しました。日本との違いを体感しながら学ぶことで、新しい視点で研究を進めることができています。将来は、日本と海外を助け合える関係として繋げられるような仕事で活躍したいです。



日本二十六聖人記念館にて

Human and Cultural Studies Program

共生文化コース

共生社会の基礎となる文化の理解を
思想史・宗教学・文化研究・歴史学
などによって深める

思想・宗教・表象・メディア・歴史などの幅広い見識を身につけることで、多様な文化的背景をもつ人々が同じ空間に共生する現代社会において、その基盤となる文化についての理解を深めます。

Student's Voice



身近な暮らしと繋がった
宗教への理解を深める

澤田 陽依 4年

北海道札幌国際情報高等学校 出身

思想や歴史、宗教など、文化を構成する様々な分野を横断的に学ぶことができる共生文化コース。私は特に、宗教や地域信仰に関心がありました。高校でも個別の宗教の起源や歴史を一つずつ学ぶ機会はありませんでしたが、大学ではそこから一歩踏み込んで、私たちの身近な日常生活や社会で起きていることと関連付けながら学ぶことができます。今では何気なく流れるニュースを深く捉えながら、それに対する自分の考えを持つ習慣が身に付きました。

卒業研究では、新型コロナウイルスが広がる中で疫病除けとして注目された妖怪のアマビエをテーマに、日本人の宗教観について研究しています。日本では、宗教に対して過激で恐いイメージや、どこか否定的な感情を持つ人が少なくありません。私は将来、日本で暮らす外国の方をサポートする立場で活躍したいと考えています。グローバルな視点で宗教への偏見をなくすためにも、まずは自分自身が身近な宗教や文化を理解することが大切だと思い学習に励んでいます。



Language and Communication Program

言語コミュニケーションコース

言語の個性と普遍性および
言語と文化の関わりを
言語学の諸分野を通して幅広く学ぶ

英語学、日本語学、比較・対照言語学、異文化間コミュニケーションを通じて、多文化社会における言語の個性と普遍性および言語と文化の関わりを実践的に学びます。

Student's Voice



言語の成り立ちを学び、
新しい視点から分析する

田中 茉優 4年

長崎県立長崎南高等学校 出身

私は高校の英語教員を目指していますが、語学だけでなく英語圏の文化や歴史など背景的な部分も学びたいと思い、多文化社会学部を選びました。言語コミュニケーションコースを選択したのも、教員免許を取得できることが大きな理由です。このコースでは、文法がなぜそうした仕組みになるのか、単語がどのように生まれたのかなどを学びます。直接的な英語力に繋がる分野ではないかもしれませんが、英語に対する視野が広がり、勉強がより面白くなりました。

例えば英語の若者言葉は時代とともに変化して、日本語と同じように短く表現する傾向があります。こうした成り立ちから比較しながら学ぶことで、様々な言語に対する理解がより深まります。卒業研究では、日本語と英語の若者言葉をテーマに調査した結果をまとめる予定です。また言語コミュニケーションコースでは、外国語だけではなく日本語学の講義もありました。当たり前のように使っている母国語を言語学的に学ぶことで、日常生活でも言語に関心を持つ場面が増えました。



史跡「出島と蘭商館跡」にて

Dutch Studies Program

オランダ特別コース

オランダ語文化圏の理解を通して
世界・ヨーロッパ・日本
などについて多面的に学ぶ

オランダ語文化圏について、人文社会科学の様々な角度から学ぶ日本に唯一のコースです。オランダを出発点にヨーロッパや世界の状況、日本との関わりについて学ぶことで、国際的な視野をもった人材を育成します。

Student's Voice



ライデン大学での
国際的・専門的な学習を目標に

原 迅哉 4年

福岡舞鶴高等学校 出身

留学先：オランダ／ライデン大学

オランダ特別コースは、3年次からのライデン大学への長期留学という明確な目標があります。それを見据えた上で、オランダ語講義以外のほとんどの専門科目が英語で行われ、アカデミックな英語のレポートの書き方を学びます。ライデン大学からの招へい教授による添削や面談もあるので、きちんと留学前に英語力を伸ばすことができました。また世界的にもレベルの高いライデン大学に留学するという目標がモチベーションに繋がって、1年次から講義や課題、留学生との交流など、意欲的に取り組むことができました。

留学期間中は、オランダの言語や文化、現代社会、歴史などを幅広く学ぶことができます。またライデン市は学生街なので、様々な国から集まった留学生と街や寮で知り合う機会があります。異なる専門分野の学生と言葉を交わすことで、視野が広がりました。オランダは世界で初めて同性婚を法制化するなど、性に対して寛容な国です。卒業論文は、ジェンダーやLGBTをテーマにまとめたと思っています。



Leiden University

ライデン大学

オランダ特別コースの学生は、世界屈指の教育・研究力を誇るライデン大学から招へいた教授らの下、長崎でオランダの言語、文化、歴史などを学びます。その後、3年次後期から1年間ライデン大学への長期留学が必須となり、そこでさらに専門性を深めます。留学先では、オランダ語の学修および学生の関心と将来計画に即した講義を受講し、グローバルに通用する専門知識と技能を身につけることができます。

ライデンは、オランダ南ホラント州にあるオランダ随一の大学都市です。レンブラントを輩出したことで知られるほか、シーボルトのコレクションを展示した日本博物館が所在するなど文化的刺激にあふれる街です。

ライデン大学はオランダで最も古い大学であり(1575年設立)、デカルトやスピノザ、アインシュタインなど数多くの著名な学者が本大学で勉学や研究を行ってきました(ノーベル賞受賞者16名)。特に、人文社会科学の分野で、現在でも世界的に非常に高い評価を受けています(THE世界大学ランキング2020 人文科学21位、社会科学42位、法学27位)。また、シーボルトの貢献によって世界で最初に日本学科が設立された大学でもあり、日本研究ではヨーロッパ屈指の歴史と研究実績を誇っています。



多文化社会学部の学びのシステム

語学力を徹底的に強化し、人文社会系諸分野を「多文化社会」の観点から再編・統合した学際性に富むカリキュラム

学びの領域	1年次	2年次	3年次	4年次
	世界で生起している様々な問題を読み解くための、 多文化社会学の入門的知識を幅広く学びます。	各専門分野の基礎を領域横断的に学びつつ、 関心を絞り込んで卒業までの学びをデザインします。	専門分野の理解を深めると同時に関連分野へ視野を広め、 卒業研究のための基礎を固めます。	入学からの学びの集大成として、 自ら設定した卒業研究のテーマに取り組みます。
多文化社会について学ぶ 多文化社会を理解するための知識を、入門・基礎・専門の講義を通して段階的に学びます。	短期留学 <			

高い語学力は学びの軸であるとともに 多文化社会で活躍するための大切なツール

多文化社会学部では、ビジネス、学術、国際関係など現代社会のそれぞれの分野でグローバル人材として活躍するための不可欠なツールとして、語学力を重要視しています。とりわけ英語力の徹底強化を目的に、系統的で集中した英語力養成プログラムを実施しています。専門知識の習得と同時に、グローバルな多文化社会で活躍するためのスキルとしての「高度な語学力」、「コミュニケーション能力」の獲得を目指すことが、多文化社会学部のプログラムの大きな特徴です。また、英語のほかにも中国語及びオランダ語モジュールを開設しています。

英語力養成プログラム

多文化社会学部では英語力強化に向けて段階的に目標値を設定した、英語力養成プログラムを実践しています。目標達成のために、短期留学、中長期留学の推奨(オランダ特別コースは必修)、基礎・専門講義科目(一部)の英語での開講、定期的なTOEFL ITP及びIELTSの実施等に取り組んでいます(TOEFL ITPの受験料は学部負担の制度あり)。また、IELTSは学内でも定期的に実施。

英語科目16科目

(1年次)8科目

Study Abroad and Presentation
Reading and Writing I
Reading and Discussion I
英語のしくみと意味I
英語コミュニケーションI、II
総合英語I、II

(2年次)5科目

Academic Writing I
英語のしくみと意味II
Reading and Writing II
英語コミュニケーションIII
総合英語III

(3年次)3科目

Academic Writing II
Reading and Discussion II
Debate

中国語モジュール及びオランダ語モジュール

中国語モジュール

世界で必要性が増している中国語。最終的には中国語によるプレゼンテーションができるレベルの力を身につけます。

(科目名)5科目

中国語総合表現I、II
中国語文献討論I、II
中国語プレゼンテーション

オランダ語モジュール

オランダ特別コースの学生は必修。初級レベルの文法から長文読解や作文にも取り組み、ライデン大学への長期留学に備えます。

(科目名)3科目

オランダ語I、II、III

Student's Voice

英語を読む・書く・話す力を総合的に伸ばせる学習環境



渡邊 希美 2年
広島県立尾道東高等学校 出身

高校までは入試を目標とした英語学習が中心でしたが、大学では英語の成り立ちや文法構造を深い部分まで学ぶことができます。「英語のしくみと意味」という講義では、アメリカの広告を例に、実際に現地で使われている文法の構造を教わりました。これまで中学高校では間違った例として教わった文法が、現地の人たちにとって当たり前のもので使われている場合もあり、生きた言語に触れられたことが印象的でした。また英語の本を読んで、その感想を英語で書く課題が定期的にありました。最初は文章を作るのに苦労しましたが、助教の方が毎回添削してフィードバックしてくれるので、作文力や単語力が身に付いたと実感しています。

TOEICやTOEFLなどの英語試験対策には、多文化図書室の充実した対策本やCD、英語カフェでのグループディスカッションが役立ちました。普段の講義の中でも試験に繋がる内容が充実しているので、今後も学習を重ねてもっと点数を伸ばしていきたいです。



英語力のトレーニング

英語カフェ 実践的に生きた英語を鍛えるコミュニケーションプログラム

英語カフェは、授業とは独立した英語学習の場で、多文化ラウンジで毎日、開催しています。リラックスした雰囲気の中で、実践的な英語力を養うことができます。プレゼンテーションやノートテイキングなど英語での授業や留学に必要なスキルを身につける、IELTSやTOEFLに必要な「英語での教養」に触れる、日本の文化や歴史について英語で語る、ニュースや社会問題について意見を交わす、といった様々なトピックを通して、英語力に広がり深さを加えていきます。英語カフェのプログラムは定期的に変更されますが、自分の興味・関心に沿って選択でき、参加回数に上限もないため、毎日参加することも可能です。1年生を対象にしたフレッシュマン・カフェ、2年生以上を対象にしたアドバンス・カフェに加え、中長期留学や留学生活についての情報提供を行う国際交流カフェを開催しています。

2019年度【後期】 英語カフェ 時間割					
	月	火	水	木	金
1校時					
2校時		ADVANCED	ADVANCED		ADVANCED
3校時	ADVANCED	FRESHMAN	FRESHMAN		
4校時	国際交流			FRESHMAN	
5校時					FRESHMAN

カフェラインナップ

- ◆フレッシュマン・カフェ(1年生対象)
- ◆アドバンス・カフェ(2年生以上対象)
- ◆国際交流カフェ(全学年対象)

多文化ラウンジ

フリースペースを活用して語学力アップ!

多文化社会学部の学生全員が自由に使えるスペースで、学生同士、あるいは、留学生や教員との交流の場として活用できます。



学生同士でスピーキングの練習をしたり、留学生と英会話をしたりすることで、語学力向上のための実践的な活動を行うことができます。

IELTS/TOEFL iBT 対策サポート

4技能の検定試験を見据えた個別指導

中長期留学を行うためには、4技能の検定試験であるIELTS又はTOEFL iBTにおいて規定のスコアを取得する必要があります。4技能の検定試験において個人での対策が難しいのは、スピーキングとライティングです。上記の英語カフェに定期的に出席していることを条件に、IELTS/TOEFL iBT対策サポートを受けることができます。IELTSやTOEFL iBTで高得点を取得している講師陣によるスピーキングとライティングに関する個別指導が受けられます(予約制)。

多文化図書室

英語学習に関するたくさんの書籍

大学図書館とは別に、学部独自の図書室を設けています。IELTSやTOEFLを中心にした検定試験関係の書籍や英英辞書、Graded Readersを中心にした多読用の書籍を借りることができます。特に、検定試験については、公式問題集を中心に、毎年、最新版の問題集を入れていますので、実際の検定試験問題に何回も取り組むことができます。



ライティング・センター

英語の学術的文章を書くためのサポート

卒業論文、修士論文、博士論文、学会発表の原稿や要旨、学術誌や紀要に投稿する論文等、学生が執筆した学術的英語論文を対象に指導員が一对一で指導を行います。ライティング・センターにおける指導では、文法や語彙選択の間違い等の細かい添削を行う、いわゆるネイティブ・チェックは行いません。読者に説得力のある論を提示するために、論理や構成、スタイル面で英語論文をどのように改善できるかということに重点を置きます。何を読者に伝えたいか、どのように根拠を示して主張を述べれば的確に伝わるかについて論理的に考え、より良い論文ができるように支援します。

異文化への理解を深めるために留学を推奨している長崎大学。そのなかでも多文化社会学部では、短期・中長期留学やフィールドワーク実習（海外）等をカリキュラムに組み込み、さまざまな形で海外で学ぶプログラムを設定しています。英語をはじめとする語学力の向上を目指すだけでなく、世界を舞台に多文化社会学の専門性を深めることを目的としています。

短期留学

多文化社会学部では、英語能力の向上と異文化交流への関心を高めることを目的に、夏季（9月）又は春季（3月）の3週間程度、ホームステイや現地学生との交流を経験しながら、海外大学との連携に基づくプログラムを提供します。

留学前には複数回のオリエンテーションを開催し、現地の事情を学び、安全についての意識を身につけます。過去に実施した短期留学では教職員が旅程の一部を引率して留学生生活をサポートしました。短期留学は、所定の条件を満たすプログラムに参加した場合、長崎大学の教養教育科目の一部である外国語科目として単位認定ができます。

過去の実績は次のとおりです。プログラムの内容および奨学金の給付額に変更する可能性があります。

◆留学先地域、大学及び時期について（過去6年間の実績）

地域	時期	時期
アメリカ	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	夏季 (9月)
	ジェームスタウンコミュニティカレッジ	
	ナショナル大学	
	ミシガン州立大学	
カナダ	ウィニペグ大学	夏季 (9月)
	カルガリー大学	
	ニューファンドランドメモリアル大学	
	マニトバ大学	
オーストラリア	エディスコーワン大学	春季 (3月)
	クイーンズランド工科大学	
	サザンクロス大学	
	キール大学	
イギリス	ハイランド&アイランド大学パース校	

◆プログラム参加費用（実績） 約35～50万円

エコノミークラス利用往復航空券、航空保険料・燃油費、日本・現地空港諸税、現地空港～大学の往復送迎費、宿泊費、授業料・研修費、食費（一部）
※その他、個人で負担・支払いをする費用（一部を例示します）：超過手荷物料金、海外旅行保険、長崎又は福岡空港までの往復交通費、その他個人的生活諸費用

◆留学奨学金（給付型2019年度までの実績）

13万円（アメリカ、カナダ、イギリス）

12万円（オーストラリア）

※学業成績や家計の所得を踏まえて給付します。

Visit our
website
for details



Message

異なる文化を繋ぐ架け橋となる英語力

伊禮門 大 2年 沖縄県立開邦高等学校 出身 留学先：カナダ／ウィニペグ大学

充実した留学プログラムと海外からの留学者数の多さに魅力を感じて多文化社会学部を選んだので、1年次の短期留学はとても楽しみでした。現地の大学では一方的に教わる座学ではなく、英語でのディスカッションが講義の中心でした。扱うテーマは、カナダでは合法化されている大麻の是非についてや、移民・人種差別についてなど、日本ではあまり身近ではない内容が中心でとても新鮮に感じました。

ホームステイ先には受け入れてくださるカナダ人の方だけではなく、韓国からの留学生も滞在していました。そうした環境で日常的に英語でコミュニケーションを重ねると、文化や背景が違っても同じ言語ならこんなに喋ることができるんだと、自分の世界が広がったように感じました。こうした経験から英語学習への意欲が増して、帰国後も講義の中で積極的に発言したり、留学生とも進んで会話してコミュニケーション力を磨いてきました。今後は中長期留学にも参加して、もっといろんな文化を体感して学びたいと思います。

Weekly schedule

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
8:30-11:20 workshop	8:30-11:15 Morning class	8:30-11:20 Morning class	8:30-11:15 Morning class	8:30-11:20 Morning class	Free	Free
12:30-14:20 workshop	13:00-14:15 workshop	12:30-14:20 Workshop	13:00-14:15 workshop	12:45-18:00 Amaze in Corn		
Free	Free	14:30-17:30 Canadian Museum for Human Rights	Free	Free		

期間：約3週間、宿泊先：ホームステイ、奨学金：JASSO及び多文化社会学部短期留学奨学金（13万円）、支出：約41万円



アクティビティが用意されていて、その内の1つとして、カナダ人権博物館にみんなで行ったときに撮ったものです。（右下が伊禮門さん）



授業と関連した場所にも多数足を運びました。写真は友人達とマニトバ州議事堂の前で、撮ったものです。写真を撮ってくれた友達が面白く、みんなで楽しそうに笑っています。

フィールドワーク実習（海外）

フィールドワーク実習（海外）では、アジアやアフリカなどからフィールドを選定し、他者と出会い、相互作用する中で、グローバル時代の社会人として必要な実証と理論の力を高め、同時に多分野横断的な学びを実現することができます。平成28～29年度はタンザニアのザンジバルで、平成30年度は台湾でフィールドワークを実施しました。

Message

現地の暮らしに入り込んで、台湾の妖怪文化を聞き取り調査

山下 茉莉花 3期生 愛知県立昭和高等学校 出身 実習地：台湾

3年次の海外フィールドワーク実習では、台湾の高雄に約2週間滞在しました。もともとゼミで民俗学を学んでいたこともあり、台湾における妖怪について、現地で聞き取り調査を行いたいと思ったことが参加した理由です。日本では空想のキャラクターとして扱われることも多い妖怪ですが、台湾の大学生やその家族に聞いてみると、多くの人が身近に存在するものと捉えていました。また同じ妖怪でも、人によってイメージする姿が異なったのも印象的な点です。さらに台湾では宗教が生活の一部になっていて、大学生でもお寺の作法を当たり前のように説明してくれました。そうした宗教的な文化や歴史も、台湾での妖怪の捉え方に影響を与えていると考えられます。

見知らぬ海外で自分の五感を駆使するフィールドワークは、とても貴重な経験になりました。卒業後は大学院でさらに民俗学の研究を深める予定なので、この経験を活かした、発展的な聞き取り調査を行いたいと思います。

期間：約2週間、宿泊先：ホテル、ホームステイ、奨学金：JASSO（6万円）、支出：約10万円



台湾の博物館で妖怪に関する展示があり、リクエストして訪問。現地での行程は学生の調査内容によって異なりましたが、滅多にない機会なので、お寺や博物館などいろんな場所に足を運びました。

海外インターンシップ

多文化社会学部では、国内インターンシップの支援のほか、学部独自の英語圏・非英語圏双方の海外インターンシッププログラムを提供しています。英語と現地語を実際に使用しながらの海外現地生活を体験し、多様な文化と人々との触れ合いにより、グローバル社会を生き抜くための経験的知識の獲得を目指します。平成30年度は、ハワイ、カンボジア、フィリピン、ラオス、ミャンマーでインターンシップを実施しました。

Message

国ごとに異なる歴史観を伝える側から学ぶ

平塚 啓汰 3年 福岡県立嘉穂高等学校 出身 インターンシップ先：アメリカ／パールハーバーナショナルメモリアル

インターンシップ先のパールハーバーナショナルメモリアル（アリゾナ記念館）は、真珠湾攻撃や第二次世界大戦に関する資料を展示している博物館です。午前中は来館者の受付や案内を行い、午後は英語の展示資料の日本語訳を手伝いました。朝から夕方まで予定が詰まっていて、さらに時差の影響もあり体力的には厳しかったですが、戦争の記録を伝えるアメリカの博物館に携わる機会を得ることができて貴重な経験となりました。

展示内容はとても中立的で、アメリカだけではなく日本の歴史についても紹介しているのが印象的でした。また戦争という難しいテーマを扱っているながらスタッフの方々が明るい雰囲気、訪れた観光客も談笑していたり、広大な敷地内で散歩をしている人もいました。ゼミ活動では韓国や沖縄を訪れて、戦争に関する博物館も見学しましたが、それぞれの国によって歴史観や展示内容が異なっていてとても興味深く感じます。現地では英語の会話力不足を感じてもどかしい思いをしたので、もっと英語を駆使できるよう、勉強に励みたいです。

期間：約2週間、宿泊先：ハワイ大学内の学生寮、奨学金：多文化社会学部奨励金（5万円）、支出：約10万円



インターンシップ先である、パールハーバーナショナルメモリアルにて、現地スタッフとの記念撮影しました。

中長期留学

中長期留学は、語学力の向上にとどまらず、学部で学んだ専門知識を土台として、留学先においてさらに専門性を深めることを目的としています。大学間の学術交流協定に基づく交換留学として実施されるため、学生は長崎大学に学費を納入し、長崎大学に在学したまま半年から1年間留学することになります。

- 留学するためには、定められた時期までに語学力及び学業成績に関する一定の学部内要件を満たすとともに、校内選考に合格することが必要です。
- 「オランダ特別コース」の学生は、1年間のオランダ留学が必須となります。その他のコースの学生にも中長期留学を強く推奨します。
- 留学先で取得した単位は、授業内容・レベル・形態の観点から精査し、長崎大学で開講している科目の単位として認定します。そのため、中長期留学に参加した場合でも4年間で卒業することも可能です。

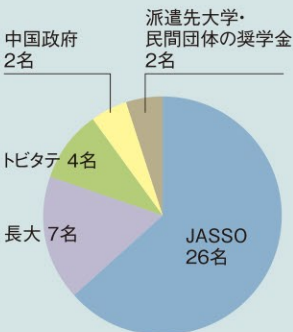
留学奨学金

長崎大学では、中長期留学に係る費用の一部を支援することを目的として、海外留学奨学金制度を整備しています（受給できる人数には限りがあります。また、予算の都合により今後変更される場合があります）。また、様々な外部団体の奨学金制度を活用できるように支援しています。

なお、奨学金を受給するには、学業成績や家計基準など一定の基準を満たす必要があります。

- ◎日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）（給付型）
最大12ヶ月間、月額6～10万円（留学地域により異なる）
- ◎長崎大学海外留学奨学金（給付型）
最大3ヶ月間、月額6～10万円（留学地域により異なる）
- ◎トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム（給付型）
単位取得を目的とした留学だけでなく、インターンシップやフィールドワークなど、自分で組み立てた留学計画を支援。奨学金（最大12ヶ月間、月額12～16万円（留学地域により異なる））、留学準備金、授業料などの支援あり。
- ◎中国政府奨学金（給付型）
中国政府が給付する、中国に留学する学生を対象とした奨学金。生活費の給付や学費の免除など手厚い支援がある。

2018/2019年 派遣学生（41名）の受給実績



海外協定先（令和2年5月1日）

長崎大学には世界各地に海外協定先があります。夢や目標を持って世界へと飛び出していく学生を支援するため、今後も、さらに海外協定先のネットワークを広げていきます。

※（ ）内はこれまでの留学実績（令和2年5月1日）

留学サポート体制

多文化社会学部では留学相談室を設置し、留学に関する必要な情報を提供しています。留学先の決定や渡航手続き、履修科目の選択等、留学に関する疑問や不安は、海外経験が豊富な留学コーディネーターに相談することができます。

学生が海外留学に出発する前には、危機管理等に関するオリエンテーションを実施しています。留学中は、指導教員等が随時電子メール等で学生の修学・生活相談に応じるほか、留学先大学の担当者とも密に連絡を取り合い、学生の状況を把握するとともに、学部内での情報共有とトラブルへの対応に当たっています。

また、長崎大学は留学生危機管理サービス（OSSMA）への加入も推奨しています。



オリエンテーションの様子

【カナダ】
ウィニペグ大学（3）
カルガリー大学（4）
ニューファンドランドメモリアル大学（3）
フレーザーバレー大学（1）
マニトバ大学
レスブリッジ大学（2）

【アメリカ】
アーカンソー工科大学
ウェスタンイリノイ大学（1）
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校（5）
ディキンソン州立大学（ノースダコタ州）
ノースイースタン・イリノイ大学（3）
ノーザン州立大学（7）
フロストバーク州立大学（4）
ベネディクティン大学（イリノイ州）（3）
ペンシルベニア州立大学インディアナ大学（1）
ミネソタ州立大学マンケイト校
メトロポリタン州立大学
モラヴィアン大学（1）
ロングウッド大学（1）

【メキシコ】
西部工科大学

Visit our
website
for details



Message 中長期留学に参加した在学生からのメッセージ

国の枠を超えた深い関係を育む留學生活

黒木 亮佐 4年 宮城県 出身

留学先：台湾／国立台湾大学

右から5人目が黒木さん



私は大学生活の中で多くの台湾人留学生と友だちになり、彼らの文化・言語を現地で学びたいという思いから台湾に留学することを決めました。留学先の台湾大学では政治学部にも所属し、台湾における政治と女性の権利の関係性について学びました。また専門外の農業や体育といった授業への参加を通じて多くの現地学生と友人になり、中国語の力を飛躍的に伸ばすことができました。学業以外の面では学外のボクシング団体と学内のサッカー部に所属し、スポーツを通じてコミュニケーションをとることで、「日本人と台湾人」という枠を超えて多くの方と深い関係を築き上げることが出来ました。台湾留学の中で経験した台湾大統領選挙を通じて台湾人の政治意識の高さに驚く一方、私を含めた日本国民の自国に対する政治意識の低さを改めて感じました。今後はより一層自国の政治に関心を持ちながら過ごしていこうと思います。

履修科目：3科目、住居：学生寮、奨学金：JASSO（6万円/月）、支出：約4万円/月

厳しい環境で自分自身の力を試す

永田 哲大 4年 長崎県 出身

留学先：カナダ／ニューファンドランド・メモリアル大学



右が永田さん

私が滞在したニューファンドランドは、カナダ最東端の極寒の孤島です。日本人学生はほとんどおらず、また英語の訛りも非常に強いとあって初めての長期留学先としては厳しい環境でしたが、自分がどこまで通用するのか試すつもりで、留学先を選びました。留学では特に課外活動に注力しました。日本の文化や言語を現地の学生に教えるサークルや、キリスト教徒の勉強会、ヒンドゥー教徒の勉強会、ゲーム愛好家サークル、そして登山サークルなど、出来るだけ人との接点をつくれる環境に身を投じました。その結果、あらゆる人との繋がりを構築することが得意になりました。この留学で培われた力は、「不屈の開拓精神」です。一切の甘えが許されない非常にシビアな環境だったからこそ、自分を奮い立たせることが出来たと思います。今後の人生においても、目の前の困難から目を逸らさず、多くのことに果敢に挑戦していきたいと考えています。

履修科目：5科目、住居：学生寮、奨学金：長崎大学海外留学奨学金（計24万円）、支出：約4万円/月

チャレンジすることで見つかる新しい自分

中田 百香 4年 長崎県 出身

留学先：ボルトガル／フェルナンドペソア大学



左が中田さん

「ゆっくり自分の人生について考えたい」という思いと、周りに背中を押されたことがきっかけとなり、ボルトガルに留学することになりました。留学中は、勉強も遊びもとても楽しく、ディスカッション中心で進む授業では、仲間と議論し互いの考え方を高め合うことを学びました。授業以外では、農場でボランティアをしたりスペイン巡礼に参加し1週間歩き続けたりしました。多様な背景をもつ人々に出逢い、彼らは「人生なんとかなるさ、飛び込んでみることも大事」ということを教えてくれ、今では私の人生の教訓になっています。私のように、自分の将来に悩んでいる人は、新しい環境にとりあえず飛び込んでみることも一つの手です。留学や海外インターンシップ、ゼミの国内外研修などの「飛び込む機会」が多文化社会学部には山ほどあります。多文化社会学部での4年間で身につける高度な教養と、国内外での経験を味方に、これからも前向きに人生を歩んでいきたいです。

履修科目：10科目、住居：賃貸住宅（4人の学生とルームシェア）、奨学金：JASSO（8万円/月）、支出：約10万円/月

Weekly schedule

前期	月	火	水	木	金	後期	月	火	水	木	金
2 (10:30-12:30)			Culture and Media			2 (10:30-12:30)		Introduction to Cultural Studies			
3 (1-2)		Globalization and Globalization	Globalization and Globalization			3 (13:00-15:00)		Methodology of Social Sciences (1-2h)	Methodology of Social Sciences (1-2h)	Population Policy and Migration movements	
4 (3-5)		Minorities and Ethnicities		Contemporary Ethnographies		4 (15:00-17:00)		Portuguese constitution and European Union (3-4h)		Urban processes and local movements	
						5 (17:00-19:00)		Transnationalism and Transculturations	ヨガ教室	ヨガ教室	

※授業以外の時間は課題をしたり、出かけていたりしています。

国内マーケットの縮小に伴い、企業の多くは海外進出に力を入れています。なかでも国民の平均年齢が若く、経済発展が見込まれる東南アジアやアフリカは注目されています。こうした地域では、英語を母語としない「独自の英語」が一般的。グローバル時代のキャリア形成について、社会や企業の最前線の動きをにらみ、1年次からじっくりと考えていきます。

1年次	グローバル キャリア入門	日本企業と外資系企業における「働き方」の違いについて、人的資源管理の面から理解します。また、大学4年間の過ごし方についてもデザインしていきます。
2年次～	インターンシップ	学生本人の興味・関心や将来目標のもとづき、主体的にインターンシップへ取り組みます。多文化社会学部では、海外インターンの派遣先も提供しています。
3年次	キャリア形成論／ 仕事セミナー	卒業後のキャリアを考え、実践的な準備をします。企業や自己の分析、学部での学びをもとに、社会でどのように活躍していくのかを考えます。

短期、中長期の留学や海外フィールドワークとともに、海外インターンシップも推奨しています。ミャンマー、ラオス、カンボジア、フィリピン(セブ)、ハワイなどで日本語学校、戦争博物館、空港、ホテルで就業経験を積みながら、異文化コミュニケーションを実践します。

業界・企業研究、自己分析、応募書類の書き方からインターンシップ先の探し方など、就職に関する基礎知識を幅広く学ぶことができます。留学中の学生に対する独自の支援も提供しており、安心して勉学に励むことができます。

多文化社会学部による就職支援（主に3年次以降）															
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月

就職に関する基礎知識を幅広く学ぶ講座です。
正規の授業科目と並行して実施しています。

学部独自で個別面談を年に複数回、実施するほか、中・長期留学を経験する学生にも、キャリア形成の意識づけを目的に留学期間中もサポートします。1年次から4年次までキャリア形成のためのプログラムを途切れなく提供し、自己の強みから将来目標を設定するための支援体制を、学内のキャリア支援センターと連携しながら整備しています。



業界を代表する企業の人事担当者を長崎大学へ招き、多文化社会学部生をメインターゲットとした特別説明会を開催しています。(平成30年度は54社が来訪)



仕事セミナー参加企業（一部抜粋）

◎朝日新聞社 ◎帝人 ◎ANA ◎JAL ◎日産自動車 ◎古河電工
 ◎三菱商事 ◎JR九州 ◎JICA ◎JETRO ◎JTBグループ ◎NHK
 ◎神戸製鋼所 ◎双日 ◎日鉄物産など多数

Messages from Graduates



フィールドワークで磨いた 行動力を営業で活かす

川床 愛 2期生

株式会社サンスター 就職
社会動態コース

現在、私は日用品メーカーの営業の仕事をしています。日用品は人々の生活に密着しているので、生活の豊かさや人々の幸せに影響を与えることができるのだと考えています。企業のパイヤー・卸・販売店の従業員の方やお客様などから様々なお話を聞き、どうしたら自社の製品を購入していただいた方に喜んでもらえるのか考えることにとてもやりがいを感じています。

在学中は増田先生のゼミでのフィールドワークに一番力を入れ取り組みました。フィールドワークでは知らない世界に飛び込み、その場所のコミュニティに溶け込んで話を聞いて学びます。手段は違いますがそのプロセスは今の営業の仕事にとても似ていると思っています。国内外問わずフィールドワークを通して得た経験と知らない世界に飛び込んでいく勇氣は、社会人としても、とても大きな支えになっています。

多文化社会学部には皆さんの学びをサポートしてくれる環境と熱心な先生方がたくさんいます。興味のある世界にどんどん飛び込んで、たくさんの人と出会い、学生時代しかできないことを思いっきり楽しんでください。皆さんの活躍を楽しみにしています。



海外志向の原点座標、 多文化での時間

中石 実乃里 1期生

双日 株式会社 就職
グローバル社会コース ※現 国際公共政策コース
スペイン／マラガ大学留学

恩師や一生の仲間との出会いを得て、長崎と国内外の素敵な場所で自分を発見し、可能性を広げてくれた。それが、私にとっての多文化社会学部でした。

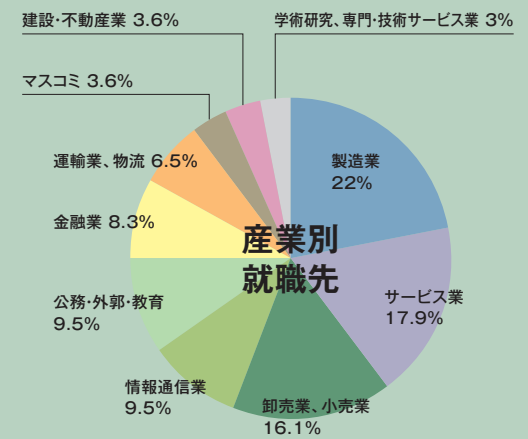
スペイン留学やラオスの幼稚園での海外インターンシップ、沖縄平和ゼミ合宿、教員に付きっきりで指導していただき、仲間と切磋琢磨しながら英語で書き上げた卒業論文。この学部恵まれた環境で楽しく学び、存分に生きた実感がありません。

一方、一期生の私たちには、すでに社会に出た先輩はいませんでした。しかし、学部専任の就職支援担当の先生による手厚く温かいサポートをいただくことで、安心して就職活動に励むことができました。また、一日一社の仕事セミナーも学部内で開催されており、様々な業界の方々から実際に話をうかがうことで仕事が身近に感じられ、就職活動のモチベーションにもつながりました。

卒業後、総合商社のリスク管理部門で頑張っています。ダイバーシティの豊かな職場で、金額の大きなビジネス案件に驚き、企業の財務分析に苦しみながら勉強の日々を過ごしています。

将来は海外駐在して活躍したい！世界を視野に入れ、大学時代を超えるくらいの人生の物語を刻む。海外志向の原点には、多文化社会学部で過ごした時間があります。

卒業生(1期生～3期生)の就職実績



〈2019年度卒業生〉
就職希望者の
就職率 **100%**

【主な就職先】

- いすゞ自動車、九州電力、小森コーポレーション、NEC、サンスター、高砂香料工業、古河電気工業、住友電装、ゼンリン、大日本印刷、高砂香料工業、トヨタ自動車九州、東芝、東京計器、日本軽金属、平田機工、フジクラ
- 双日、双日九州、日鉄住金物産、日鉄物産、日通商事、三菱電機住環境システムズ、古河産業、JR九州リテール、東京書籍販売
- ANA、ANA福岡空港、JAL、スターフライヤー、ソラシトエア、星野リゾート、HIS、西鉄旅行、博多座
- 熊本県庁、長崎市役所、沖縄市役所、労働基準監督署、国税専門官、日本年金機構、中小企業基盤整備機構、水資源機構、長崎大学、長崎商工会議所
- Yahoo、楽天、NTTビジネスソリューションズ、NTTデータシステムズ、両備システムズ、USEN、東京コンサルティングファーム
- 三菱倉庫、山九、商船三井ロジスティクス、西日本鉄道(国際物流事業)
- りそな銀行、福岡銀行、福岡中央銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、沖縄振興開発金融公庫、九州労働金庫、AIG、三井住友海上火災保険株式会社
- 三菱電機プラントエンジニアリング、長崎空港ビルディング、オーブパハウス
- フジテレビ、岐阜放送、神戸新聞、西日本新聞、長崎新聞、琉球新報

【その他進学先】

中央民族大学民族学与社会学学院(中国)、东京大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、一橋大学大学院、九州大学大学院、広島大学大学院、関西学院大学大学院、長崎大学大学院、青山学院大学大学院

**Visit our website
for details**



多様な知識と経験を持つ教員との出会いも 多文化社会学部の大きな魅力

多文化社会学部には、海外の様々な文化に通じる日本人の教員と外国籍もしくは外国出身の教員が在籍しています。
様々な現場で実務経験のある教員も多く情報に奥行きがあり、実践的な知識が詰まった講義が展開されます。
これから多文化社会へと羽ばたいていく皆さんにとって多様なバックボーンを持つ教員たちとの出会いは
かけがえのない学びの機会となることでしょう。

※[]内は教員の主な開講科目名です。 ※科目名は変更となる可能性があります。 ※教員情報は、令和2年7月15日現在のものです。



教授
木村 直樹
KIMURA, Naoki
【地域史料論】

日本近世政治・外交史(対外関係史)について、長崎を起点に研究。島原の乱や、九州発近世屈指の大飢饉である寛永飢饉についても研究。



教授
才津 祐美子
SAITSU, Yumiko
【文化資源論】

専門は民俗学、文化人類学。近現代の日本における地域文化の表象・継承・活用のあり方について、文化遺産保全を中心に研究。



教授
滝澤 克彦
TAKIZAWA, Katsuhiko
【宗教文化論】

専門は宗教学、モンゴル研究。現代モンゴル国のキリスト教流行現象や、東日本大震災後の祭礼復興などを対象として、社会と宗教の動的関係について研究。



教授
西原 俊明
NISHIHARA, Toshiaki
【コーパス言語学】

専門は、言語学、英語学、応用言語学。英語を中心に、言語に見られる普遍性・個性についてコーパス等を用いて研究。



准教授
カトロニ ピノ
CUTRONE, Pino
【異文化間コミュニケーション】

専門は、異文化語用論、応用言語学/TESOL、社会言語学、談話分析。日本におけるEFL(外国語としての英語)の教授法を研究。



准教授
河村 有教
KAWAMURA, Arinori
【国際人権論】

専門はアジア・アフリカ法、刑事法。人権侵害、ジェンダー問題、核兵器廃絶・禁止含む平和の構築維持について探究。刑事手続、ハラスメント・いじめ調査、懲戒処分手続、CDR等手続きについてのルールのあり方も研究。



准教授
ギェルベヤズ アブドゥルラッハマン
GUELBEYAZ, Abdurrahman
【メディア・スタディーズ】

専門は、言語学、社会学、記号論、言語社会学、音楽学。言語や同種の記号制度と、社会性・すなわち人間性との相互関係の諸相を研究。



准教授
小松 悟
KOMATSU, Satoru
【開発経済学】

専門は開発経済学、環境経済学。アジアの途上国を対象として、国の経済開発と環境改善を両立させながら、持続可能な発展のためにはどのような政策が望ましいかを分析。



教授
野上 建紀
NOGAMI, Takenori
【陶磁考古学】

専門は考古学。陶磁器を生産した窯、運んでいた船、消費していた都市の遺跡を調べて、「陶磁の道」とも呼ばれる「海のシルクロード」を研究。



教授
波佐間 逸博
HAZAMA, Itsuhiro
【地域生態論】

アフリカの牧畜社会でフィールドワークを行い、暴力紛争や民族的病いの問題、他者や動物との共生とコミュニケーションについてサバンナの生活者自身の目線から研究。



教授
葉柳 和則
HAYANAGI, Kazunori
【文化表象論】

専門は文化社会学。主テーマとして多言語国家スイスのナショナル・アイデンティティ、副テーマとして近現代長崎の都市イメージを取り上げ、表象の政治という視点から研究。



教授
広瀬 訓
HIROSE, Satoshi
【国際機構論】

専門は国際機構論、軍縮、安全保障論。核軍縮交渉のプロセス、特に核不拡散条約(NPT)を中心とした多国間交渉における、人権の確保を保障するための法的枠組みの可能性を研究。



准教授
原田 走一郎
HARADA, Souichirou
【日本語学】

日本語・琉球諸語の方言を研究。主に九州、沖縄県八重山のことばを対象に、それらが世界の言語のなかでどのような特徴を持つかを考察。



准教授
細田 尚美
HOSODA, Naomi
【文化人類学(移民)】

専門は、文化人類学、東南アジア地域研究、移民研究。主にアジアや中東に出稼ぎ中のフィリピン人についての現地調査を通じて、世界情勢や各国の移民政策と、彼らのコミュニティやアイデンティティの変遷との関連を研究。



准教授
増田 研
MASUDA, Ken
【現代アフリカ社会論】

専門は社会人類学。アフリカ、アジア、日本の各地で社会の成り立ちと歴史を追いかけています。近年は、開発途上国における保健と高齢化の問題に取り組む。



准教授
南 誠
MINAMI, Makoto
【トランスナショナルリディ論】

専門は歴史社会学、国際社会学。中国帰国者の調査や、満洲の歴史と記憶の国際比較を手がかりに、近代東アジアにおける境界文化の生成と消滅について研究。



教授
ボイケルス ハルメン
BEUKERS, Harmen
【オランダ文化論】

日蘭間で行われた知の交流の中で、特に19世紀の自然科学と医学を中心に研究。「本草学」の研究が当時の貿易にいかに関与したか、とりわけシーボルトとヘルツの活動に注目している。



教授
門司 和彦
MOJI, Kazuhiko
【グローバルヘルス】

専門は人類生態学。環境と健康の関連を一体として捉えるエコヘルスの視点にたって、集団の健康と生存についての人類生態学的研究をアジアやアフリカの調査地で研究。



教授
森川 裕二
MORIKAWA, Yuji
【国際政治学】

国際政治の仕組みが、一体化する世界の中でどのように変化しているのか、国際政治の理論的な基礎を歴史的な背景や現実の社会の動きに照らして研究。



教授
楊 曉安
YANG, Xiaoo
【対照言語学(日中)】

専門は応用言語学、実験音声学。実験音声学の手法を用いて、音声分析ソフトによる音声分析を通して、中日両言語の音声構造と文法・語義の関係について研究。



准教授
見原 礼子
MIHARA, Reiko
【異文化理解教育】

専門は比較教育学、教育社会学。ヨーロッパを主なフィールドとして、多文化社会における移民の教育問題や子どもの虐待問題を研究。



准教授
森 元斎
MORI, Motonao
【思想史】

専門は、哲学・思想史・文化研究。現代哲学の著作・論文を読解するとともに、そこに潜む人間・社会・自然の問題を分析・研究。



助教
佐藤 美穂
SATO, Miho
【グローバルヘルス】

専門は保健システム研究。質的手法を用いて主にアフリカにおいて人々の健康希求行動や保健医療従事者の動機付けを研究する一方、保健プロジェクトに短期専門家として参画。



助教
トート ルディ
TOET, Rudy
【日本語基礎B】

専門は言語学で、日本語の文法を研究。現在は態(ヴォイス)、取り分け能動態(スル型動詞)と受動態(サレル型動詞)の使い分けを文法理論と統計学の両観点から考察。



教授
連 清吉
REN, Seikichi
【中国思想史】

専門は中国思想、日本漢学。中国古代思想、とりわけ儒家と道家思想の在り方及びその現代的意義と、日本近代における中国学の影響・変容を研究。



教授
王 維
WANG, Wei
【異文化交流論】

長崎をはじめ、世界各地におけるチャイナタウン及び華人系社会・文化及び上位社会との交流史、音楽受容史、異文化観光について研究。



准教授
東 史彦
AZUMA, Fumihiko
【EU法】

国際経済法や国際人権法を題材に、超国家法としてのEU法と国内法・国際法との間の関係性について研究。



准教授
岩本 佳子
IWAMOTO, Keiko
【グローバル文化交流史】

13世紀から20世紀まで、現在の中東、北アフリカ、南東欧ヨーロッパを支配し、グローバルな文化交流の促進に貢献したオスマン朝の歴史を、古文書記録に登場する遊牧民に焦点をあてて研究。



助教
ヌルガリエヴァ リヤイリヤ
NURGALIYEVA, Lyailya
【Understanding Japanese Culture and Society】

専門は国際関係、中央アジア研究であり、研究分野は、ソ連の崩壊後のカザフスタンの外交政策。その中でも、カザフスタンと日本、中国、ロシア又はEUとの関係に注目。



助教
山下 龍
YAMASHITA, Noboru
【日蘭比較文化】

①日本人を対象としたオランダ語教育、②日本人を対象とした英語教育、③日欧比較文化の研究(現在は主に日本茶道文化史の研究)、④日蘭交流史(現在は主に島と医学の研究)

Visit our website for details



互いを知り
絆を深める寮生活

国際学寮ホルテンシア

希望者は、入学して1年間は寮に入り、1ユニット4人(外国人留学生1人～2人を含む。)のルームシェア形式で共同生活を送ります。様々な文化的背景を持つ者同士が、日常をともにすることで深い絆も生まれます。昨年度の入寮者2人に寮生活を振り返ってもらいました。

鋤柄 裕貴(2年)

埼玉県立浦和高等学校出身

寮生活は入学前からとても楽しみで、人間的に大きく成長できた1年間でした。留学生や様々な県から集まった学生と共同生活を送っていると、価値観の違いを感じる場面があります。そうした時に、自分の正しいと思うことを一方的に押し付けても解決しません。考えを論理的に伝えて、相手の話にも耳を傾ける。そうして妥協点を見つけることが大切だと学びました。

堀井 律佐(2年)

徳島県立富岡高等学校出身

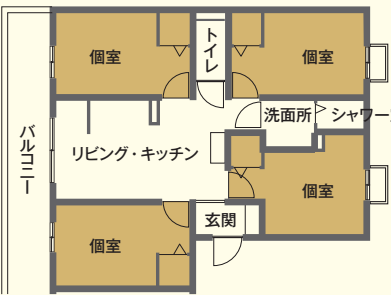
全く新しい環境で留学生と一緒に生活しながら関係を築いていくのは貴重な経験で、相手を思いやりながら理解し合うことの大切さを学びました。私は寮長をしていたので、学生同士のトラブルの間に入ったり、相談事を聞く機会もありました。相手の気持ちや立場を考えた上で意見をまとめるのは難しかったですが、周りの友人や先輩が支えてくれて、繋がり大切さを感じました。

国際学寮ホルテンシア

- 【所在地】長崎市内(大学まで徒歩12分程度)
- 【収容人数】135人(A棟72人・B棟63人)1ユニット4人(外国人留学生1人を含む。)のルームシェア形式(ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)※入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合があります。
- 【入居費用】寄宿料25,000円/月、共益費2,500円/月(ただし、水道・ガス代を除く。)※月額が改定される可能性があります。また、入居時に借家人賠償責任保険等の加入、退去時のクリーニング費用として、10,000円が必要です。
- 【施設】集会室、駐輪場
- 【設備】《個室》エアコン、光回線インターネット、TV端子、照明、机、椅子、ベッド、電気スタンド
- 【セキュリティ対策】カードキー対応玄関ドア、暗証番号対応個室ドア
- 【共有スペース】シャワーブース、システムキッチン、ダイニングセット(テーブル、椅子)、冷蔵庫、電子オーブンレンジ、全自動洗濯機、衣類乾燥機等
- 【食事】食事の提供はありません。共同キッチンで自炊することができます。



■間取り



リビング・キッチン(共有スペース)。みんなで食事を採りながら団らんします。



個室。鍵もかけられるので、個人のプライバシーも確保されています。



集会室。プロジェクターが完備されていて、プレゼンの練習や勉強会もできます。



中庭。もちつき大会などのイベントを通して留学生や地域の方と交流します(写真は消防訓練)。

CHODAI(長大) LIFE

勉強はもちろんサークル活動や学内・地域イベントにも参加してキャンパスライフをより充実したものにしましょう。

4 April

入学式
新入生オリエンテーション
前期授業開始
新入生研修

入学式

5 May

開学記念日

長崎ハタ揚げ大会
稲佐山つつじまつり

6 June

あじさいまつり

7 July

オープンキャンバス
前期授業終了
前期定期試験

ながさきみなとまつり
長崎ベーロン選手権大会
祇園祭

8 August

夏季休業

長崎夜市
原爆の日
精霊流し

9 September

短期留学
海外インターンシップ
フィールドワーク実習
(海外/国内)

中国盆
長崎居留地まつり
孔子祭

10 October

後期授業開始

長崎中華街中秋節
長崎くんち
YOSAKOIささげ祭り

11 November

学園祭

丸山華まつり

12 December

冬季休業

1 January

新春もちつき大会

のもさき水仙まつり

2 February

後期授業終了
後期定期試験
卒業論文発表会

ランタンフェスティバル

3 March

短期留学
海外インターンシップ
春季休業
卒業式

写真提供：©(一社)長崎県観光連盟

学生生活紹介(鋤柄君の1年次前期の1週間)

Weekly schedule						1年次前期の1週間の時間割	
	月	火	水	木	金	土	日
1校時 (8:50～10:20)	キャリア入門	英語 コミュニケーションⅠ	ジムで トレーニング	グローバル キャリア入門	国際公共政策 入門(政治)	勉強・休養・ アルバイト等	
2校時 (10:30～12:00)	リサーチ入門 (文献調査)	情報基礎	総合英語Ⅰ	Reading and Writing Ⅰ	多文化社会学の 諸問題Ⅱ(人文)		
3校時 (12:50～14:20)	フランス語Ⅰ	英語カフェ		多文化社会学の 諸問題Ⅰ(社会)	思想・宗教 研究入門		
4校時 (14:30～16:00)	自習	長崎地域学	英語カフェ	自習	Study Abroad and Presentation		
5校時 (16:10～17:40)	ジムで トレーニング	初年次セミナー	オランダの言語		英語カフェ		
放課後				アルバイト	アルバイト		

Student's Voice 学生の活動

核兵器廃絶への想いを
国際会議で世界に届ける

中島 大樹 多文化社会学研究科1年
(多文化社会学部卒業)

福岡舞鶴高等学校 出身

核兵器廃絶長崎連絡協議会が主催するプロジェクト「ナガサキ・ユース代表団」のメンバーとして、核軍縮・不拡散問題に関する国際会議に参加しました。4月に行われる会議に向けて1月から事前学習を進めていたのですが、その時期にも核兵器の問題はリアルタイムで動いていて、実践的な知識を得ることができました。会議の期間中は国連の一室を借りてプレゼンを行ったり、国際機関を訪問したりしました。活動を通して、長崎から来た若者がメッセージを届けることに対する反応が直接感じられて、発信することの意義が感じられました。

核兵器廃絶への取り組みには、感性と理性の両方が必要です。私はもともと理性的な部分のアプローチが多かったのですが、国際会議の中で、被爆者の方の体験談を外国の学生が聞く機会がありました。そこで改めて被爆者の方のお話を直接聞くことの貴重さを再確認し、自分なりにその想いを伝えていきたいと感じました。卒業論文でもナガサキ・ユース代表団のことをテーマにする予定で、大学院でも核兵器の問題について取り組みたいと思います。



6期生としてスイス、7期生としてアメリカで行われた会議に参加しました。大規模な国際会議でしたがあまり緊張しなかったため、貴重なひと時を満喫できました。

里親・里子と一緒に自然体で
楽しみながら交流を深める

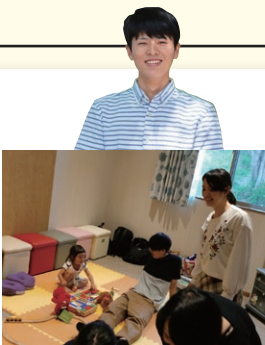
永田 航平 4年 社会動態コース

長崎県立西陵高等学校 出身

1年次から「里親里子応援隊」というサークルに所属しています。主な活動は、里子や児童養護施設で生活している子どもたちと遊ぶことで、児童相談所の一時保護所で子どもと交流し、学習支援を行うこともあります。また、里親支援のソーシャルワーカーを招いた勉強会も開催しているので、基本的な知識や社会問題について学ぶことができます。訪問は月に1回程度で、里親と里子を招待する学生による自主企画も行います。これまでデイキャンプをしたり、ペンギン水族館で餌やり体験をしました。

普段から大切にしていることは、子どもと一緒に自分たちも楽しむことです。感情表現が素直なので、自分たちが楽しむとそれが伝わって笑顔で返してくれるのが嬉しいです。

活動を通して、養育が困難な家庭やその子どもに対する偏見が今でも根強いことを知りました。多文化社会学部では家族社会学という分野についても学べるので、卒業までに勉強や活動を継続して、より良い社会の実現の力になりたいです。



児童養護施設を訪問して、子どもたちと交流します。久しぶりに訪問しても覚えていて、喜んで声をかけてくれる子どももいて、こちらが元気をもらいます。

令和3年度(2021年度)入試情報

求める学生像

- 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している者
- 世界の多文化状況や異文化交流に興味、関心を持ち、グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲のある者
- 世界の多文化状況を客観的に捉え、見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる者
- 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ、それらについて批判的に思考できる者

Visit our
website
for details



入学者選抜の基本方針

多文化社会学部の入学試験では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。また、入学後のカリキュラムを考慮して、選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と、多文化状況や異文化への興味・関心、学ぶことへの意欲も重視します。

募集人員

学部	学科等	入学定員	募集人員						
			一般選抜(分離・分割方式)		総合型選抜I		帰国生徒 選抜	外国人留学生 選抜	合計
			前期日程	後期日程	一般枠	グローバル・国際バカロレア枠			
多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース オランダ特別コース	100	68	10	8	4	若干人	若干人	90
			7		2	1	若干人	若干人	10
	計	100	75	10	10	5	若干人	若干人	100

一般選抜

※詳細は、11月下旬頃発表予定の「令和3年度一般選抜学生募集要項」をご覧ください。

学力検査等の 区分・日程	コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階選抜	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目名等	教科等	科目名等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	※ 総合問題	小論文	面接又は ペーパー・ インタビュー	調査書	配点合計	
【前期】 2月25日 (木)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国	国	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	【前期】 以下のA・Bのうち、いずれかを満たす者を第1段階選抜の合格者とする。 A:大学入学共通テストの外国語の得点率が75%以上の者(注3) B:TOEFL iBT 61点以上,TOEIC L&R 730点以上,TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上,実用英語技能検定(英検,英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上,IELTS 5.5以上,GTEC(4技能版)1140点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者(注4)	共通テスト	100	*50		*50		200					400	
	地歴	世B／日B／地理B	その他	批判的・論理的思考力テスト (総合問題) 調査書	個別学力検査等							100	230				30	360	
	オランダ特別コース	公民	現社／倫／政経／倫・政経	外	コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	【後期】 以下のA・Bのうち、いずれかを満たす者を第1段階選抜の合格者とする。 A:大学入学共通テストの外国語の得点率が80%以上の者(注3) B:TOEFL iBT 61点以上,TOEIC L&R 730点以上,TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上,実用英語技能検定(英検,英検CBT,英検S-CBT)準1級以上,IELTS 5.5以上,GTEC(4技能版)1140点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者(注4)	計	100	*50		*50		300	230				30	760
	数	数Ⅰ／数Ⅰ・数A／数Ⅱ／数Ⅱ・数B	その他				批判的・論理的思考力テスト (総合問題) 調査書 面接	共通テスト	100	*50		*50		200					
		理	①物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎から2科目 ②物理／化学／生物／地学から1科目	その他			個別学力検査等					100	230		30 (面接)	30	390		
	外	英／独／仏／中／韓から1科目	計				100	*50		*50		300	230			30	30	790	
【後期】 3月12日 (金)	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	国	国	その他	小論文 調査書 ペーパー・インタビュー		共通テスト	100	*100				200					400	
	地歴	世B／日B／地理B	【3教科3科目】 現社／倫／政経／倫・政経	個別学力検査等									250	30 (ペーパー・ インタビュー)	30	310			
	オランダ特別コース	公民		英／独／仏／中／韓から1科目	実施しない		実施しない												

(注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。(注2) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。(注3) 大学入試センターが発表する大学入学共通テスト(本試験)平均点(中間集計)における英語の平均点(リーディングとリスニングの平均点を、長崎大学が指定する得点比率(リーディング160点、リスニング40点の4:1の得点比率)に応じて200点満点に換算)を考慮して、得点率を見直す可能性がある。なお、得点率の有無及び見直し後の得点率は、令和3年1月22日頃に長崎大学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。(注4) 外国語検定試験は、平成31年1月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成31年1月以降に受験した試験とする。また、公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

総合型選抜I

※詳細については、7月上旬頃発表予定の「令和3年度総合型選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日
(第2次選考日)

令和2年10月18日(日)

選抜方法等

自己推薦書、諸活動の記録、調査書等、個人面接及び筆記試験の結果を総合して合格者を決定します。

一般枠の出願には、TOEFL iBT 61点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上、IELTS 5.5 以上、GTEC(4技能版)1140点以上、又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、平成30年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成30年9月以降に受験した試験とする。(注2) 外国語検定試験(TOEFL ITPを除く。)は公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEIC IPは対象としない。(注3) グローバル・国際バカロレア枠の出願要件については募集要項をご覧ください。

帰国生徒選抜

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和3年度帰国生徒選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和2年11月18日(水)

選抜方法等

提出された書類及び面接(日本語及び英語による)の成績の結果を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT 75点以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定(英検、英検CBT又は英検S-CBT)準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、平成30年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成30年11月以降に受験した試験とする。
(注2) 外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

外国人留学生選抜

※詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和3年度外国人留学生選抜学生募集要項」をご覧ください。

試験日

令和2年11月18日(水)

選抜方法等

「TOEFL等の成績」、「日本留学試験(日本語、総合科目及び数学コース1)」、「面接(日本語及び英語による)」の得点を総合して合格者を決定します。

出願には、TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコア・級を必要とする。
(注1) 外国語検定試験は、平成30年11月以降に受験した試験に限る。
(注2) 外国語検定試験は公式スコア(TOEFL iBT はTest Date スコアに限る。)を対象とし、TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。

批判的・論理的思考力テスト(総合問題)の導入

一般入試(前期日程)の「批判的・論理的思考力テスト(総合問題)」では、高等学校までの教育課程を尊重し、基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される、批判的・論理的思考力を評価しています。
グローバル化する社会でみなさんが直面する出来事や課題は、たとえ個人的な事項、ローカルな問題であろうとも、どこかでグローバルな要因とつながっています。そして、こうした出来事や課題の解決のためには、「唯一の正解」を見出すことができない場合がほとんどです。

こうした「唯一の正解」のない問いに答えようとする上で重要となるのは、身につけた知識や技法を活用して、唯一の正解など存在しない出来事や課題に対してできる限り説得力のある解釈や解答を導き出す力です。
批判的・論理的思考力テストでは、文章、グラフ、地図、表などを読み解き、そこから論を展開していくことになります。
そのためには、以下のような力と知識を総動員することが必要となります。

- (1) 国語の授業で身に付ける読解力、思考力、文章力
- (2) 地歴・公民の授業で身に付ける歴史の流れ・因果関係
- (3) 「この地域はこんな地域」という地理的イメージ力
- (4) 現代社会の仕組みや他者に対する倫理
- (5) 数学や理科の学習を通して養われる数理的に物事を判断する力や論理的に推論する力

過去の入試問題及び出題例・解答例・採点の観点については、多文化社会学部ウェブサイトをご覧ください。

長崎大学多文化社会学部では過去の入試問題を公表しています。なお、著作権の関係で公表していない入試問題については、長崎大学窓口(入試課)での閲覧が可能です。詳細は、長崎大学入試情報サイトを
ご覧ください。



新型コロナウイルス感染症の状況によっては、試験実施日程、選抜方法などをやむを得ず変更する場合があります。変更する場合は、長崎大学入試情報サイトでお知らせいたします
ので、ご留意願います。



新型コロナウイルス感染症の状況によっては、多文化社会学部で提供するカリキュラム・プログラムに変更の可能性があります。